

夏季の省エネ・節電にご協力ください

今夏の電力需給は、全国で瞬間的な需要変動に対応するために必要とされる予備率3%以上を確保しているものの、厳しい見通しです。また、大規模な発電所のトラブルが発生した場合、安定供給ができない可能性が懸念されます。加えて、ロシアによるウクライナ侵略などの影響により、石油、天然ガス、石炭等の調達リスクの高まりが生じています。

そのため、政府、電力会社においては、引き続き供給力の確保に最大限の努力をしております。国民の皆様におかれましては、国民生活、経済活動に支障のない範囲において節電へのご協力をお願いします。また、給湯器や自家用車の使用時の省エネについてもご協力をお願いします。

節電をお願いしたい期間

7/1(金) >>> 9/30(金) 終日、無理のない範囲で、節電へのご協力をお願いいたします。
(数値目標は設けない)

※太陽光発電の出力が減少し、電力需給が厳しくなる傾向にある点灯帯(17:00-20:00頃)には特に節電へのご協力をお願いいたします。

※緊急時には、政府が発信する情報も踏まえながらより一層の節電へのご協力をお願いいたします。

熱中症にご注意ください

屋内でも熱中症にかかる場合があります。適切な室温管理や水分補給に留意いただく等、十分にご注意ください。特に、ご高齢の方や体調に不安のある方、病院や介護施設などにおいては、熱中症予防に留意し、無理のない範囲での省エネ・節電にご協力をお願いします。

省エネ・節電メニュー

エアコン

- ①室内の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げましょう。
- ②目詰まりしたフィルターを清掃しましょう。
- ③日中はすだれ、よしず、カーテンなどで窓からの日差しを和らげましょう。

照明

- ④リビング等の部屋の明るさを下げましょう。
- ⑤不要な照明は消しましょう。

家族そろってリビングで過ごし、人のいない部屋の照明・エアコンを消すなど、ライフスタイルの見直しをすると省エネになります。

冷蔵庫

- ⑥冷蔵庫の冷やしすぎを避け(強→中)、扉を開ける時間を減らし、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。※食品の傷みにはご注意ください。
- ⑦壁との間に適切な間隔を空けて設置しましょう。

テレビ

- ⑧省エネモードに設定して、画面の輝度を下げましょう。見ていない時は消しましょう。

ご高齢の方や体調に不安のある方など、それぞれのご事情のもと、無理のない範囲でご協力をお願いします。

熱中症予防情報サイト(環境省)



[お問い合わせ先] 四国経済産業局 資源エネルギー環境部エネルギー対策課 ☎ 087-811-8535

地域に出ていく高校生たち

連載 No. 04 / 12
Date. 2022.09

「じゅうく。」では勉強のサポートに加え、生徒が地域に出て活動するプロジェクトも実施しています。今回は、生徒が「地域の良さ」を知ることを中心に、岩本寺で行なわれた「夏の夜のマルシェ」に出店し、地域の素材を使用した【ブルーベリーマフィン】と【塩焼きうどん】を販売しました。

そして今回の活動では「しまんと街おこし応援団」の方々、「サンビレッジ四万十」の吉岡さま、「塩の邑」の森澤さまにご協力いただきました。

01 生産者訪問

訪問した際には、ただ素材を提供していただくのではなく、「どんな想いを持ってお仕事されているのか」をお伺いしました。



02 メニュー開発



いただいたブルーベリーとお塩を使用した、メニューの開発を行ないました。「どうしたらお客様に喜んでもらえるか」を考えながら試作を重ねました。

03 当日

雨予報のため、前日にイベントの縮小が決まり、急遽、農村環境改善センター内でも販売することにしました。結果は、見事**完売!**



地域の方々から「高校生が頑張っているから」と足を運んでくださりました。また、生徒たちにとっては、地域で活躍される方々と地域の良さを知る機会になりました。

ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました!

お問い合わせ先

町営塾「じゅうく。」 ☎ 22-3163



四万十川のために今できること

Vol. 7

四万十町は森林面積が総面積の約87%を占め、この豊かな森林が、四万十川の水位を安定させたり濁りを防ぎ、アユなどの住みやすい環境を作っています。森林の豊かさは川に通じています。そこで今回は、川と森林のかかわりについてご紹介します。

川と森林のかかわり

森林の土はスポンジ状になっており、雨水を吸収し、ゆっくりと流し出す働きを持っています。大雨が降っても洪水にならず、晴天が続いても川の水が涸れないのは森林の土のおかげです。森林の地中に張った根や、森林の中の小草は土砂の流出を防ぎ、川の濁りを減らします。

森林の整備

間伐等を行って森林を整備することは、川を豊かにすることに繋がります。森林には、災害防止や水源かん養などの機能がありますが、適切な整備を行わなければその機能は失われてしまうため、適時適切な整備が必要です。

町では、森林の多面的な機能を高めるため、森林経営管理制度を活用した私有林の整備や、町有林の整備に取り組んでいます。

※水源かん養：雨水を吸収して水源を保ち、河川の流量を調整する。



[お問い合わせ先] 企画課 四万十川振興室 ☎ 22-3124
農林水産課 林業振興室 ☎ 22-3113